2025年5月15日

各　位

会　社　名　株式会社グリッド
代表者名　代表取締役社長　曽我部　完
（コード番号：5582 東証グロース市場）
問合せ先　執行役員ＣＦＯ　小林　剛
（TEL 03-5468-8800）

（訂正）「2025年６月期第２四半期（中間期）決算説明資料」の一部訂正について

2025年２月14日に開示いたしました「2025年６月期第２四半期（中間期）決算説明資料」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正のうえ、訂正後の資料を添付いたします。

記

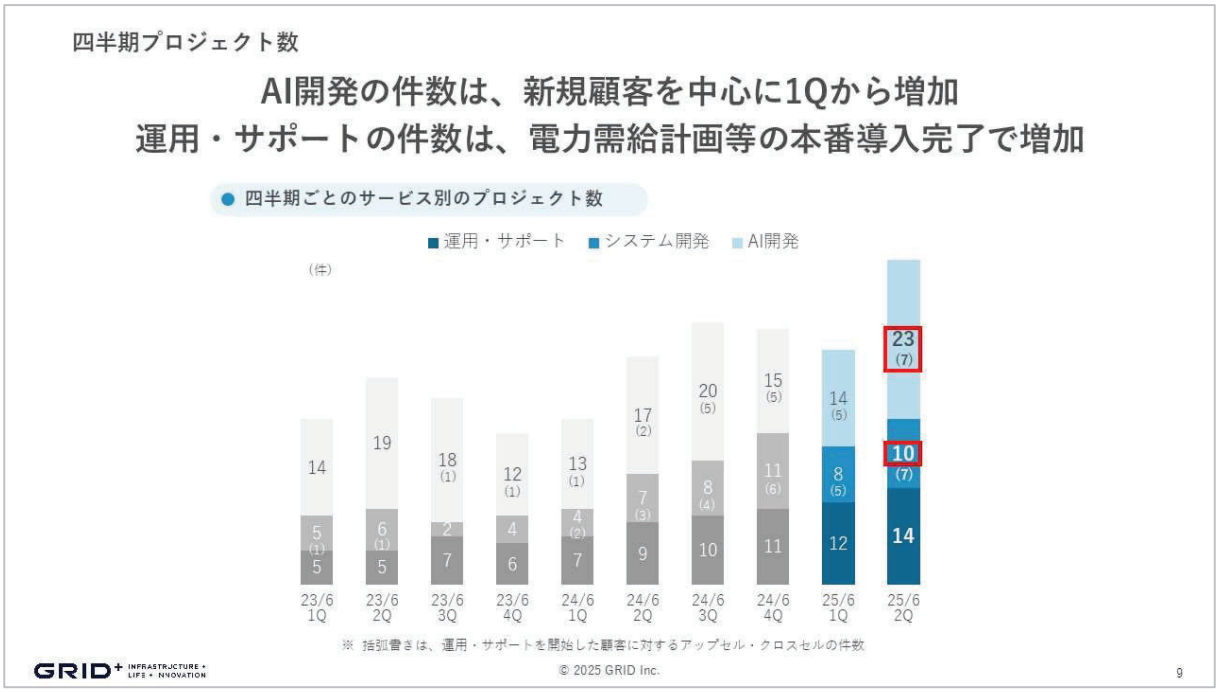
１．訂正の理由

当該説明資料９ページ「四半期プロジェクト数」における「25/6 2Q」について、誤りがありましたので訂正いたします。

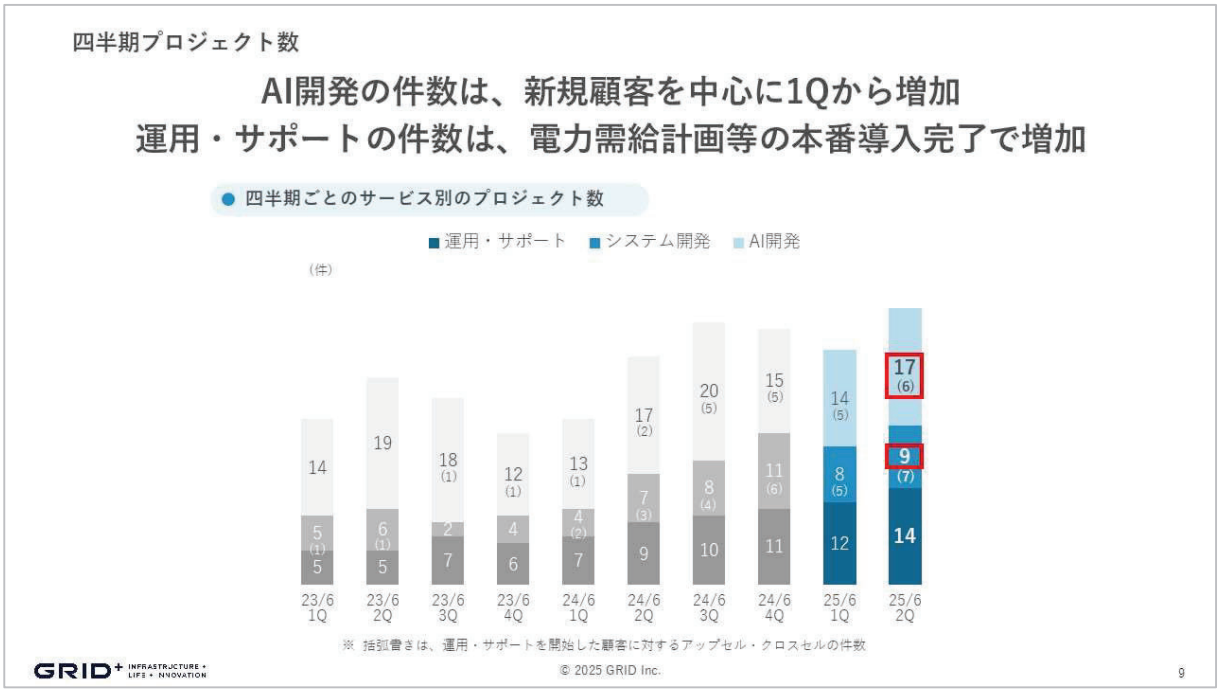
２．訂正の内容

訂正箇所につきましては、赤色の枠線を付して表示しております。

【訂正前】



【訂正後】



3．添付資料

訂正後の資料を添付しております。

INFRASTRUCTURE + LIFE + INNOVATION

2025年６月期 第２四半期(中間期)
決算説明資料

株式会社グリッド(証券コード5582)

2025年２月14日

© 2025 GRID Inc.

- **25/6期中間期決算概況**
- 近況報告
- マクロ環境
- 成長戦略
- 事業等説明

© 2025 GRID Inc.

サマリー：中間期業績

売上高 ―― 890百万円（前年同期比+39.5%）

■ 電力・エネルギーを中心に各ドメインで対前年同期プラスとなり、全体で約４割の増収を達成

- 電力・エネルギーは480百万円（前年同期比+82.6%）。一部のプロジェクトで進捗の遅れがあったものの、新規顧客獲得や本番導入の進展により、フロー型売上が398百万円（前年同期比+91.8%）、ストック型売上は81百万円（前年同期比＋47.9%）と大きく増加
- 物流・サプライチェーンは305百万円（前年同期比+8.9%）。前期の下期以降、複数の案件で運用・サポートが開始されたことに伴いフロー型売上が173百万円（前年同期比+0.2% ）と微増に留まるも、ストック型売上は131百万円（前年同期比+23.0%）と増加
- 都市交通・スマートシティは95百万円（前年同期比+13.4%）。スマートシティ案件に代わって鉄道会社からの受注拡大によりフロー型売上は61百万円（前年同期比△4.0%）と微減に留まる一方で、渋滞予測の追加開発でストック型売上は33百万円（前年同期比+69.0%）と増加

※ AI開発、システム開発の売上をフロー型売上、運用・サポートの売上をストック型売上と定義

営業利益 ―― 62百万円（前年同期は３百万円）

■ 継続的な開発及び営業の人員増を賄う着実な増収で、第２四半期会計期間でも営業黒字を確保

- 当半期末のエンジニア数は74名（前年同期比+9名）、営業・管理は29名（前年同期比+6名）で採用費を含めた人件費は621百万円（前年同期比+28.4%）。増収率が営業費用の約75%を占める人件費の増加率28%を上回る結果となり、営業利益は対前年同期で増加
- 本番導入開発の進展、運用・サポート件数の増加等によりソフトウエア関連費用は73百万円（前年同期比+45.7%）と増加

当期純利益 ―― 38百万円（前年同期は△14百万円）

■ 繰越欠損金解消の早期化等により繰延税金資産が減少し、利益に対してマイナスインパクトが発生

- 前期４Qにおける減資で繰越欠損金による所得控除の割合は100%へ変更。それに伴う繰越欠損金解消の早期化等により、当中間期末の繰延税金資産は前期末から23百万円減少

© 2025 GRID Inc.

前年同期比較

売上高は対前年同期で39.5%成長
人件費が大きく増加しつつも増収増益を確保

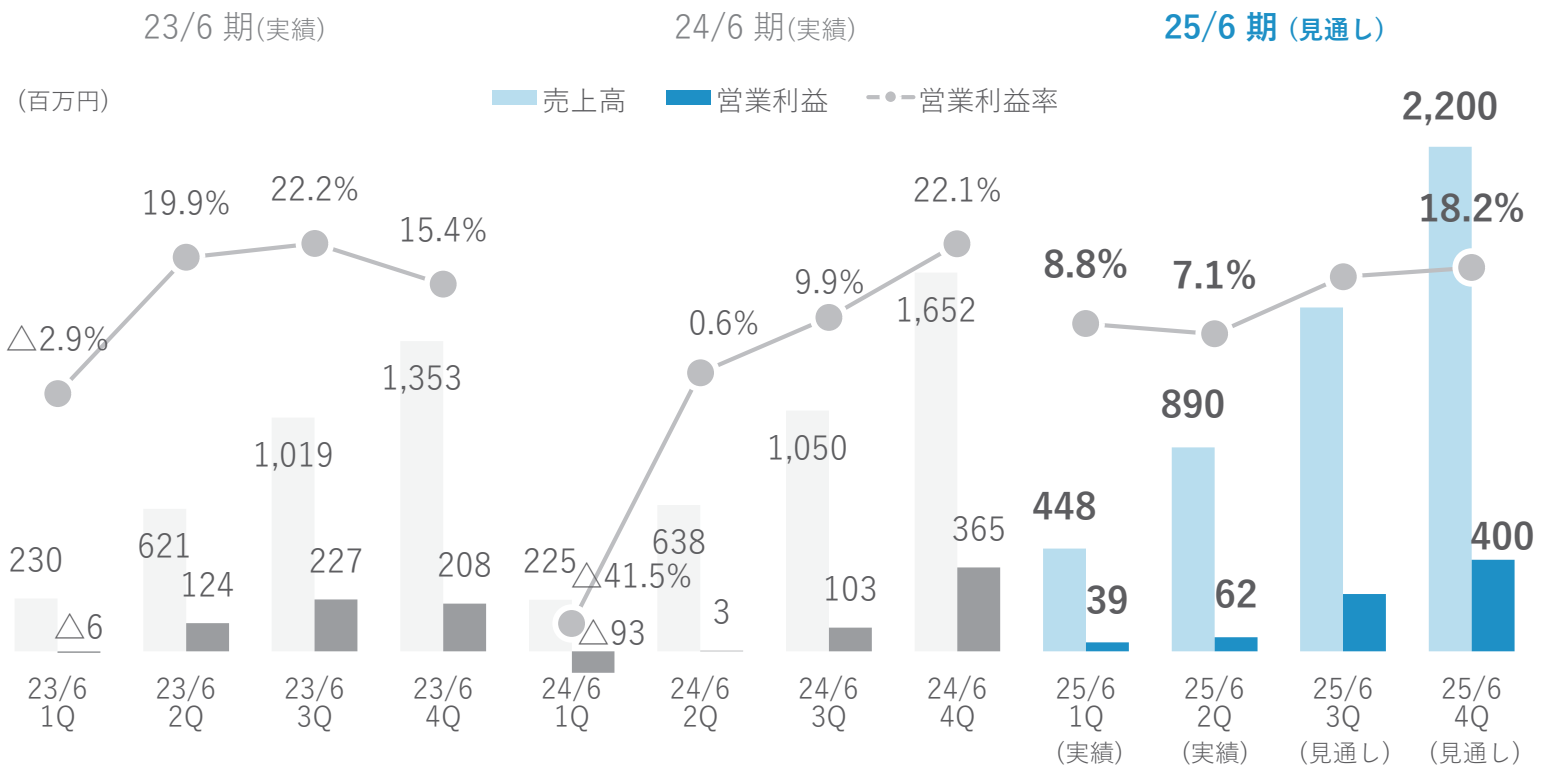
(百万円)	25/6期中間期 (売上高比)	24/6期中間期 (売上高比)	前年同期比
売上高	890	638	+39.5%
営業利益	62 (7.1%)	3 (0.6%)	+1652.8%
経常利益	63 (7.1%)	△17 (△2.7%)	―
当期純利益	38 (4.4%)	△14 (△2.3%)	―

© 2025 GRID Inc.

四半期累計業績見通し

開発・営業人員の増員で上期の利益水準は低調となるも
下期にかけての売上増により、通期では利益計画達成の見通し

● 四半期累計の売上高と営業利益の推移



© 2025 GRID Inc.

産業ドメイン別の売上構成

新規顧客獲得や本番導入の進展で
電力・エネルギーの構成割合は、今後も大きく伸長

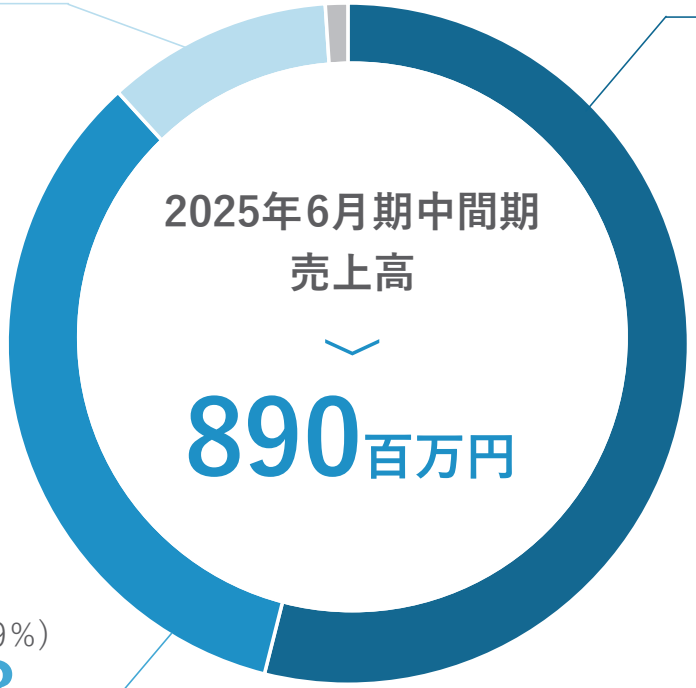
（前年同期13.2%）
都市交通・スマートシティ 10.7%

- 渋滞予測
- 空調熱源制御
- 鉄道運行計画

- 配船計画
- 生産計画
- 輸送計画

（前年同期43.9%）
物流・サプライチェーン 34.3%

その他
1.1%（前年同期1.7%）



（前年同期41.2%）
電力・エネルギー 53.9%

- 電力需給計画
- 送配電計画
- プラント制御

© 2025 GRID Inc.

フロー型売上・ストック型売上ともに新規顧客獲得や本番導入の進展で増加

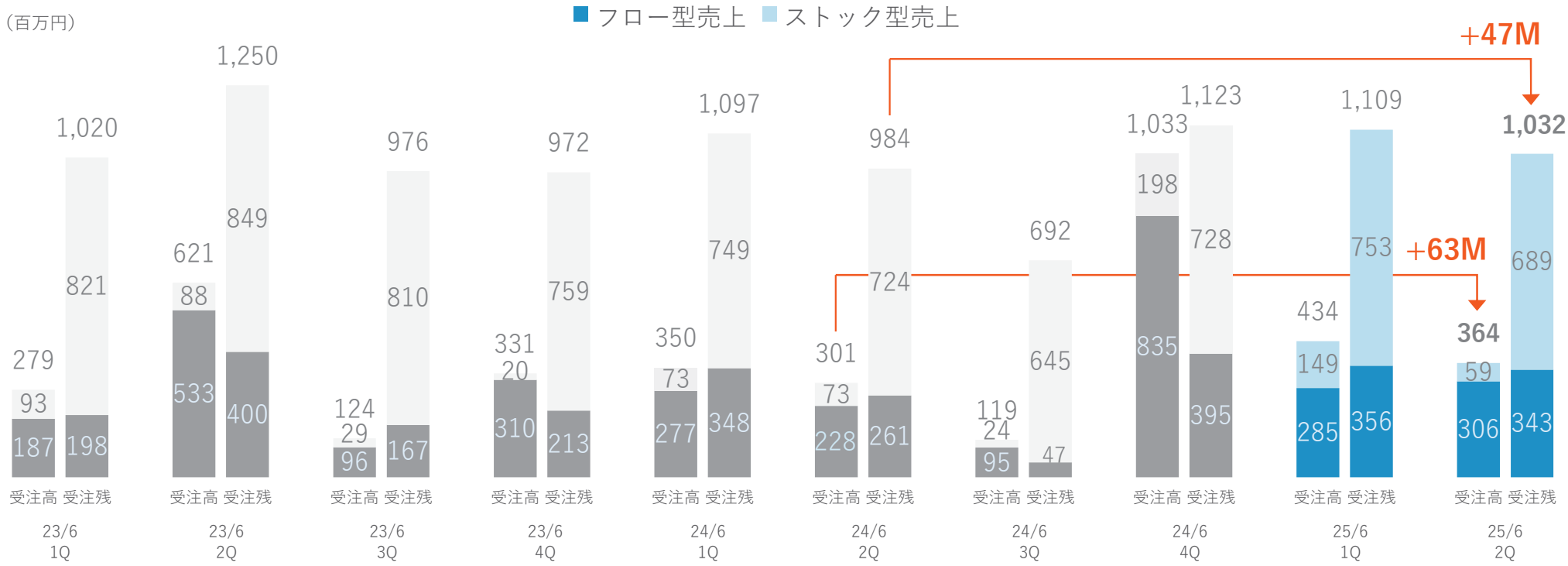
	フロー型売上		ストック型売上
	AI開発	システム開発	運用・サポート
具体的なサービス	AI技術によるAIアルゴリズムとシミュレータを組み合わせたものをAIエンジンとして開発 AIアルゴリズム ＋ シミュレータ → AIエンジン	AIエンジンを搭載した業務アプリケーションを顧客の業務システムに組み込む AIエンジン → 業務システム	顧客がシステムを継続利用するための機能（性能維持・監視・障害対応）を年間契約で提供
売上高	24/6期中間期 456 百万円 25/6期中間期 643 百万円 +187百万円		24/6期中間期 182 百万円 25/6期中間期 246 百万円 +64百万円

© 2025 GRID Inc.

受注高と受注残高

中間期の受注高は799百万円、受注残高とともに前年同期から増加
受注高の５割超が新規顧客案件または本番導入案件等

● 四半期ごとの受注高と受注残高の推移

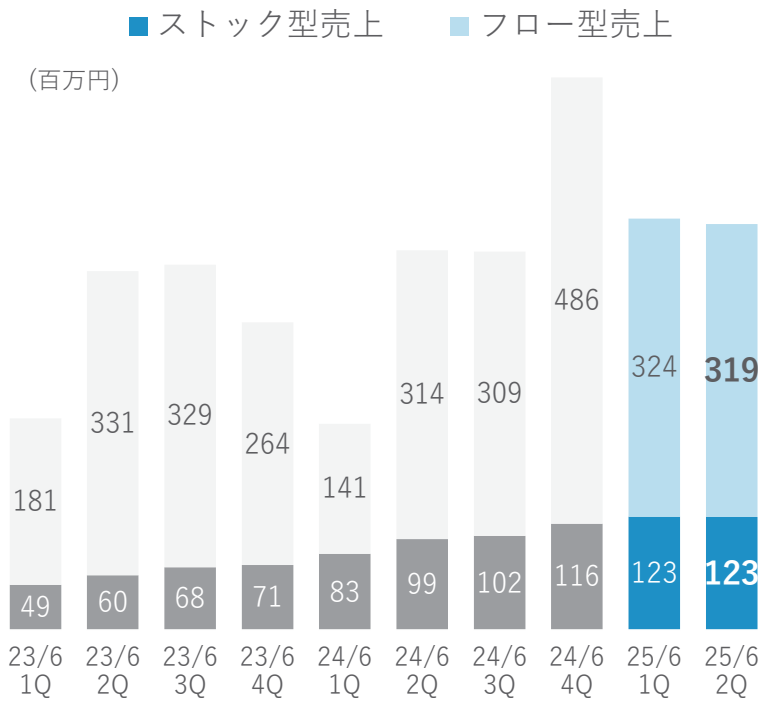


© 2025 GRID Inc.

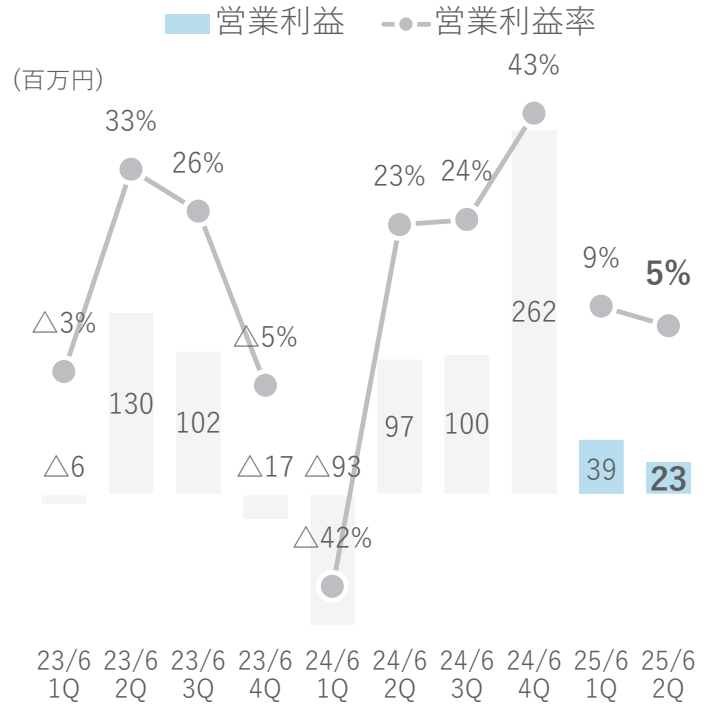
四半期業績推移

フロー型売上、ストック型売上ともに1Qの水準で推移
営業利益率は継続的な採用で一時的に低下するも通期では18%に回復見通し

四半期ごとの売上高



四半期ごとの営業利益と利益率

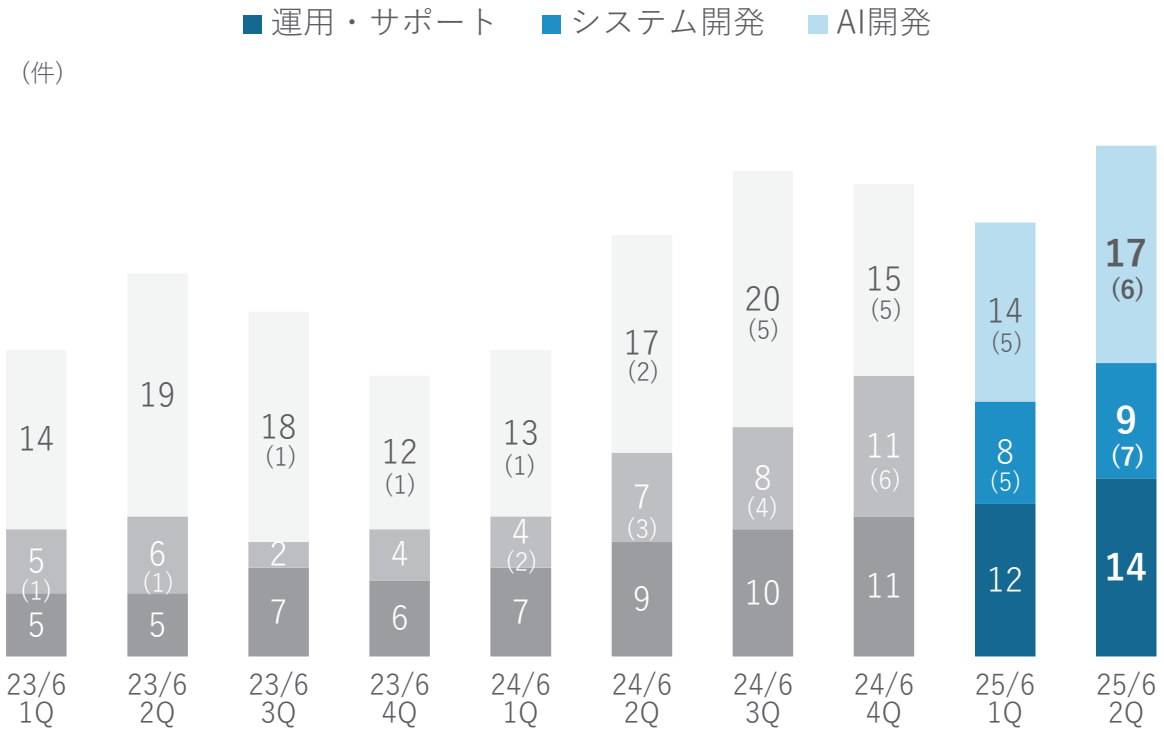


© 2025 GRID Inc.

四半期プロジェクト数

AI開発の件数は、新規顧客を中心に1Qから増加
運用・サポートの件数は、電力需給計画等の本番導入完了で増加

四半期ごとのサービス別のプロジェクト数

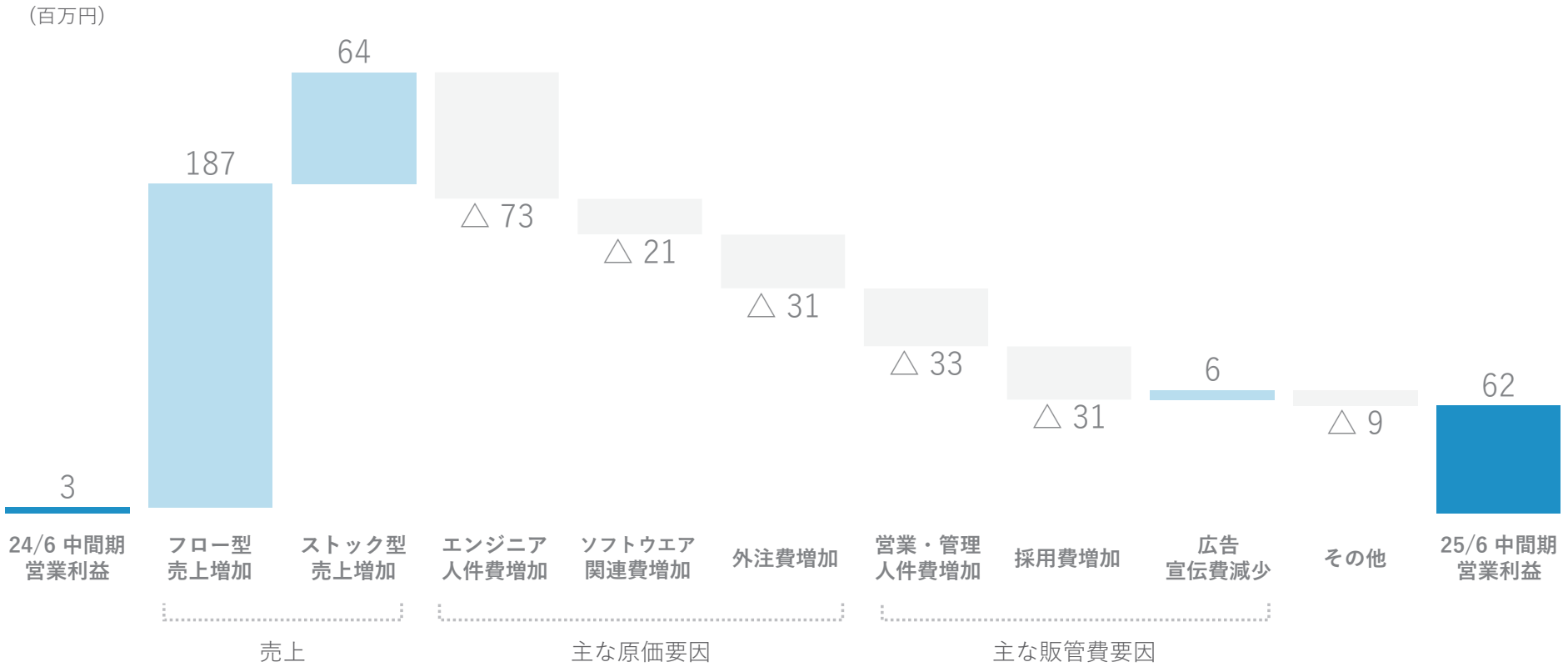


※ 括弧書きは、運用・サポートを開始した顧客に対するアップセル・クロスセルの件数

© 2025 GRID Inc.

営業利益増減要因

開発及び営業の人員増による採用費含めた人件費の増加を売上高の増加が大きく上回り営業利益は前年同期から59百万円増加



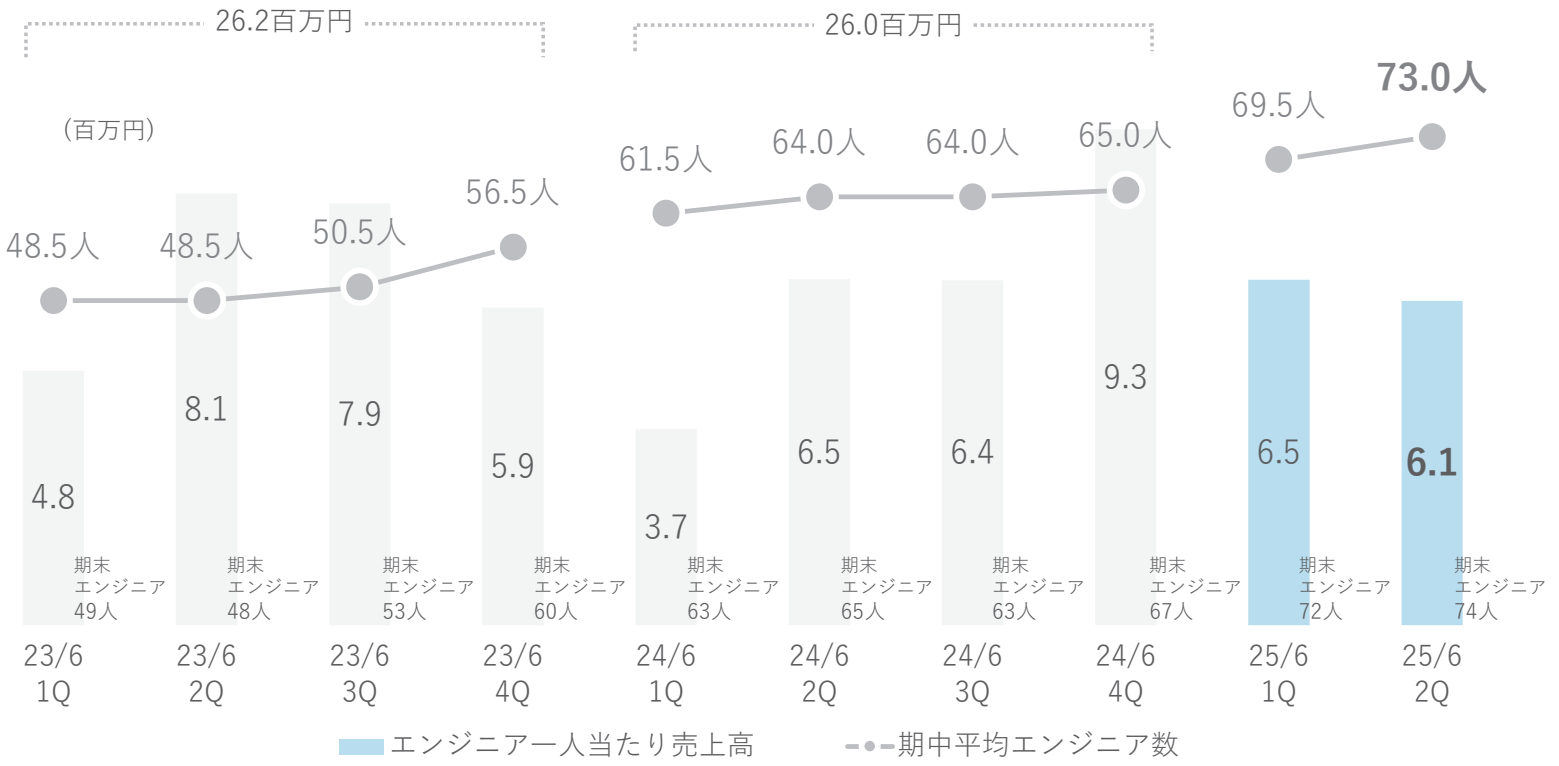
© 2025 GRID Inc.

エンジニア一人当たり売上高

エンジニアの継続的な増員と売上の1Qからの横ばいで
生産性は一時的に低下するも、下期の売上増で回復見通し

四半期ごとのエンジニア一人当たり売上高※とエンジニア数

※ 四半期売上高÷四半期期首期末平均エンジニア数



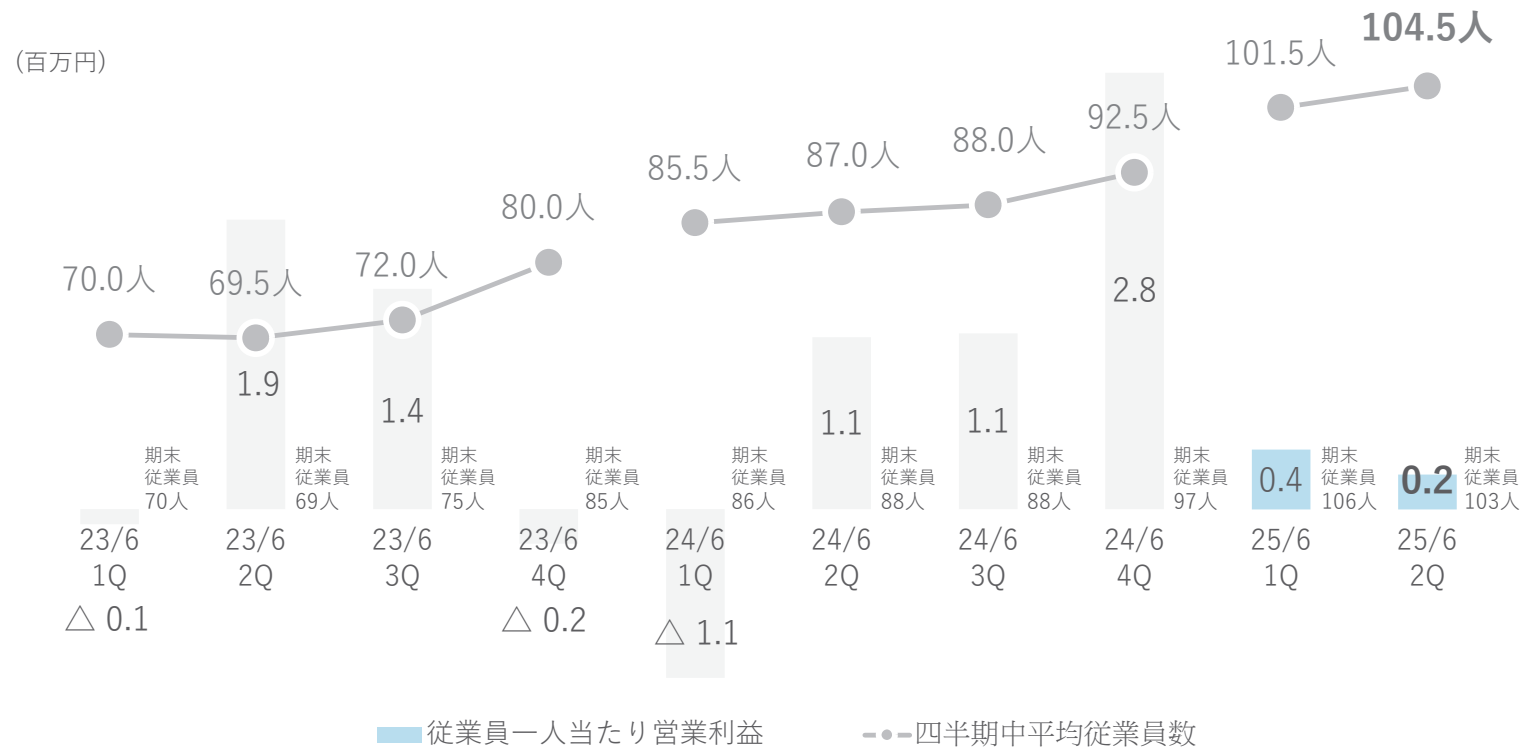
© 2025 GRID Inc.

従業員一人当たり営業利益

通期での積極採用と売上高の下期にかけての集中で
従業員一人当たり営業利益は、下期から水準が上昇する見通し

● 従業員一人当たり営業利益※と従業員数

※ 四半期営業利益÷四半期期首期末平均従業員数



© 2025 GRID Inc.

主要な経営指標

顧客基盤の拡大により取引先数※1を増やしつつ
電力会社からの大型受注で顧客平均売上※2も増加

	25/6期中間期	24/6期中間期	前年同期比
売上高成長率	39.5%	2.8%	+36.7pt
営業利益率	7.1%	0.6%	+6.5pt
ストック型売上比率	27.7%	28.5%	△0.8pt
顧客平均売上※2	27.0百万円	24.6百万円	+2.4百万円
取引先数※1	33社	26社	+ 7 社
主なサービス区分※3	29社	25社	+ 4 社

※1 売上計上の対象となったエンドユーザ数　　※2 売上高÷通期取引先数
※3 その他を除く、AI開発、システム開発、運用・サポートの3区分

© 2025 GRID Inc.

貸借対照表

利益の増加や借入の返済等により自己資本比率は90%超に上昇
事業拡大と共に最適な資本構成を目指す

(百万円)	25/6期中間期	24/6期末	前期末比
資産	4,029	4,101	△1.8%
流動資産	3,704	3,746	△1.1%
現金及び預金	3,065	2,900	+5.7%
固定資産	325	354	△8.3%
負債	350	463	△24.3%
流動負債	350	457	△23.3%
固定負債	-	5	△100.0%
純資産	3,678	3,638	+1.1%
自己資本比率	91.3%	88.7%	+2.6pt

© 2025 GRID Inc.

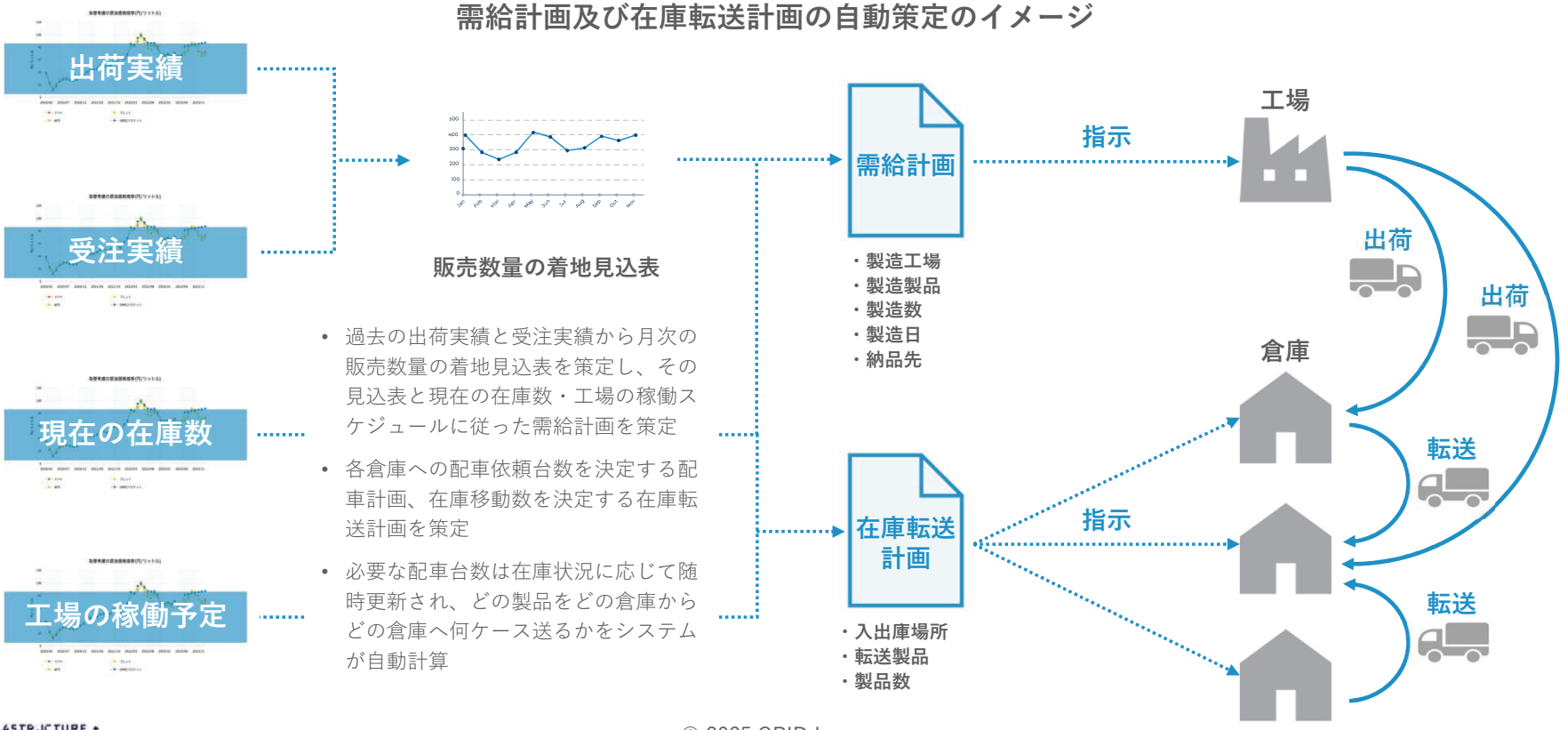
- 25/6期中間期決算概況
- **近況報告**
- マクロ環境
- 成長戦略
- 事業等説明

© 2025 GRID Inc.

日清製粉ウェルナ向けの需給管理自動化システムの開発完了
需給計画（製造計画）と在庫転送計画をAIが自動策定

入力データ ▶ データ作成 ▶ 計画策定 ▶ 計画実行

需給計画及び在庫転送計画の自動策定のイメージ



- 過去の出荷実績と受注実績から月次の販売数量の着地見込表を策定し、その見込表と現在の在庫数・工場の稼働スケジュールに従った需給計画を策定
- 各倉庫への配車依頼台数を決定する配車計画、在庫移動数を決定する在庫転送計画を策定
- 必要な配車台数は在庫状況に応じて随時更新され、どの製品をどの倉庫からどの倉庫へ何ケース送るかをシステムが自動計算

© 2025 GRID Inc.

- 25/6期中間期決算概況
- 近況報告
- **マクロ環境**
- 成長戦略
- 事業等説明

© 2025 GRID Inc.

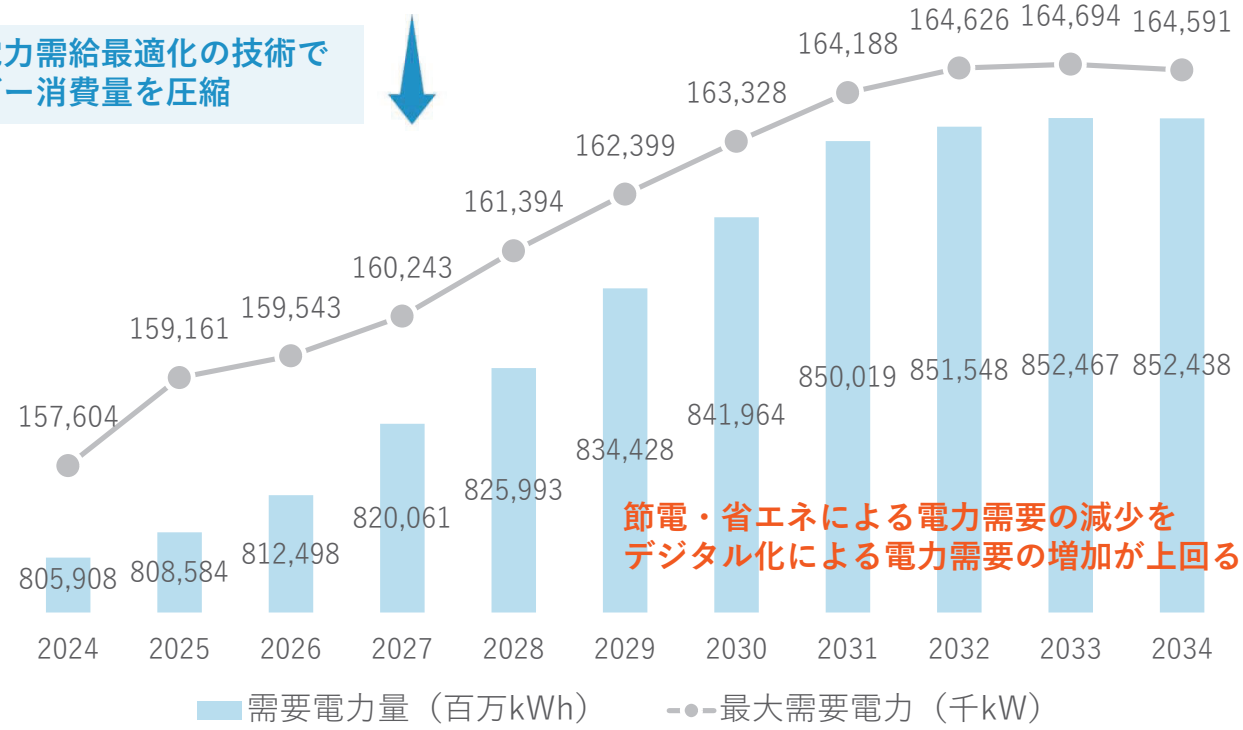
今後の電力需要

社会全体のデジタル化でデータセンターや半導体工場の新増設が続き
2034年までに需要電力量は460kWh超増加

2034年度までの最大需要電力と需要電力量(使用端)

産業競争力の強化や経済成長のため安定的かつ効率的な電力の供給体制が求められている

当社の電力需給最適化の技術で
エネルギー消費量を圧縮



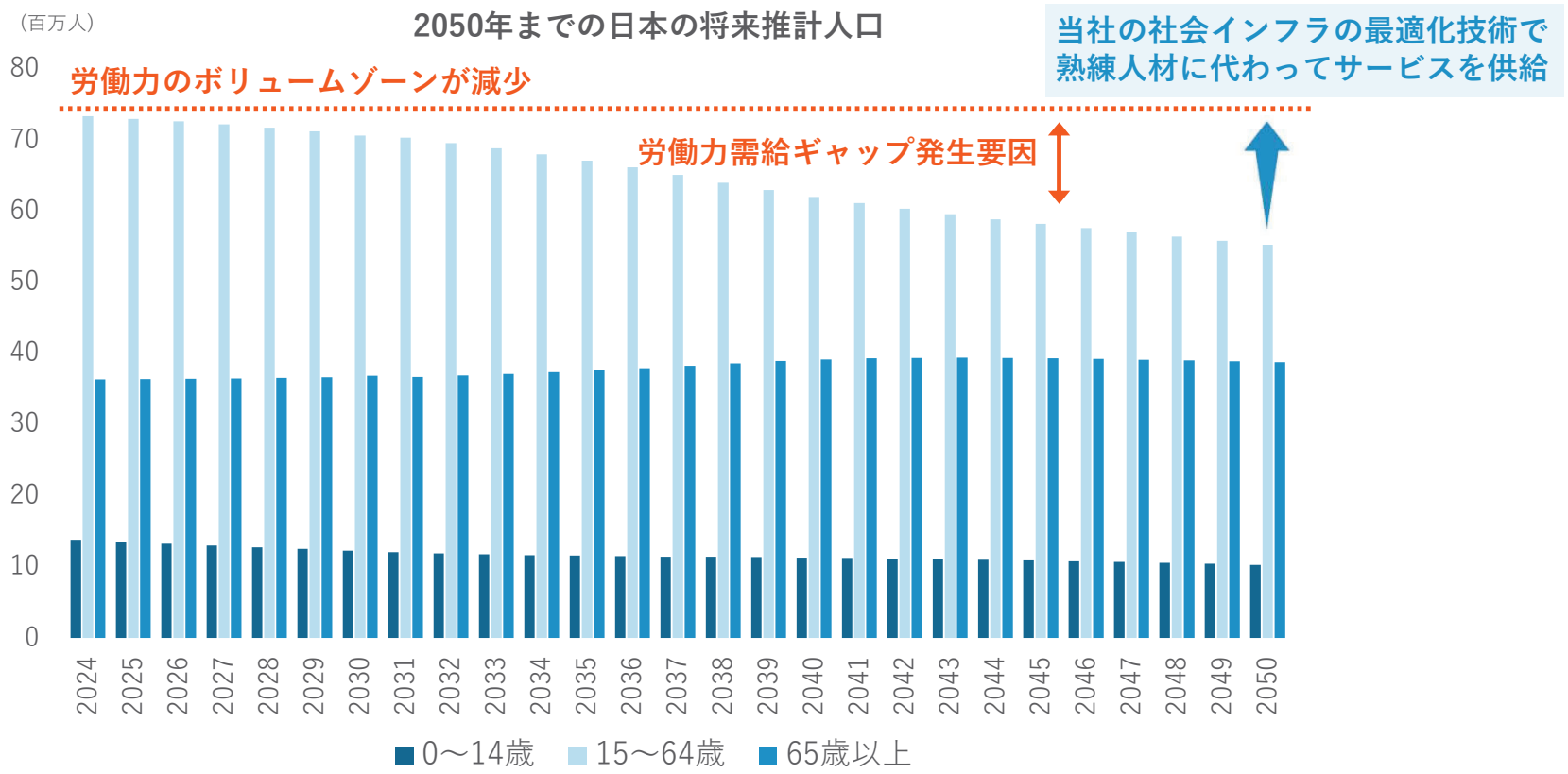
節電・省エネによる電力需要の減少を
デジタル化による電力需要の増加が上回る

電力広域的運営推進機構「全国及び供給区域ごとの需要想定(2025年度)」より当社作成

© 2025 GRID Inc.

今後の労働人口

65歳以上の高齢者人口が微増である一方
15～64歳の生産年齢人口は2040年までに1,100万人以上減少



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和５年推計)」より当社作成

© 2025 GRID Inc.

安定供給を支える人たちを支えるイノベーション

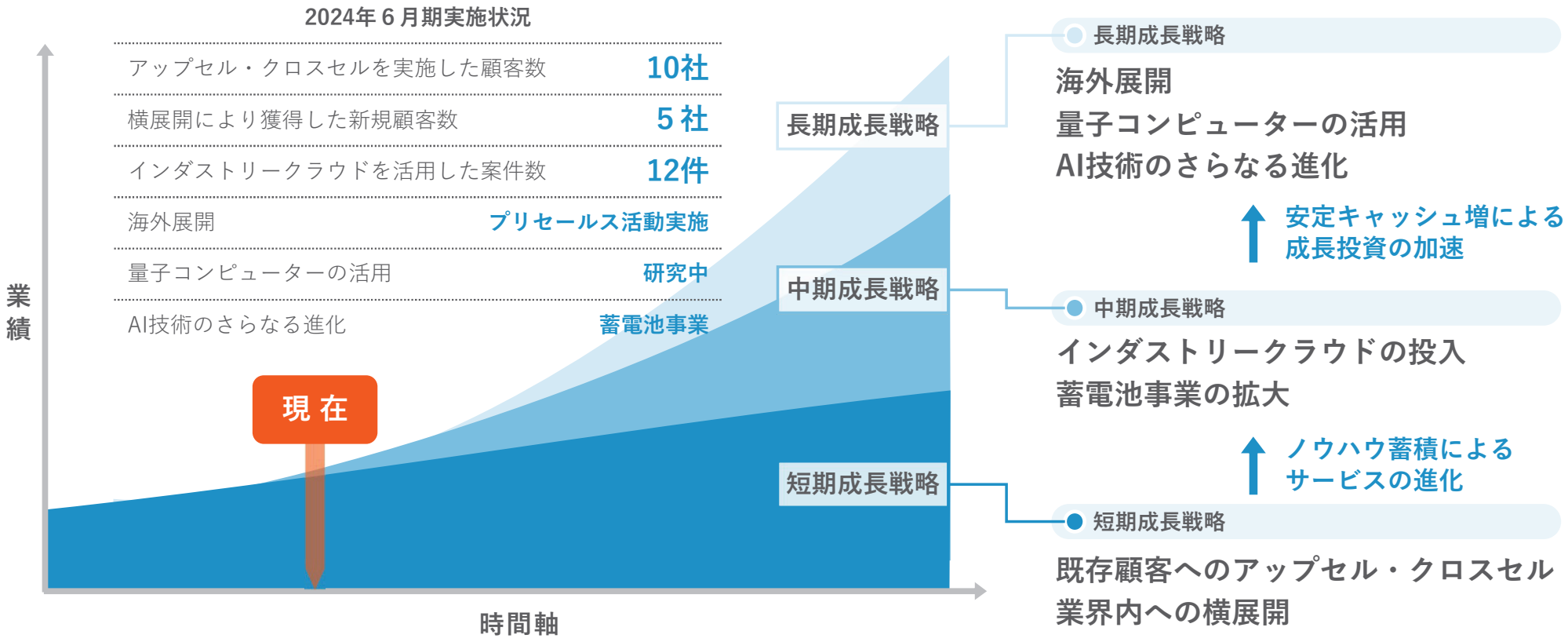
INFRASTRUCTURE + LIFE + INNOVATION

- 25/6期中間期決算概況
- 近況報告
- マクロ環境
- **成長戦略**
- 事業等説明

© 2025 GRID Inc.

成長イメージ

上場による調達資金を開発体制等の強化へ投資
サービスの進化で、事業拡大の加速と持続的な成長を目指す

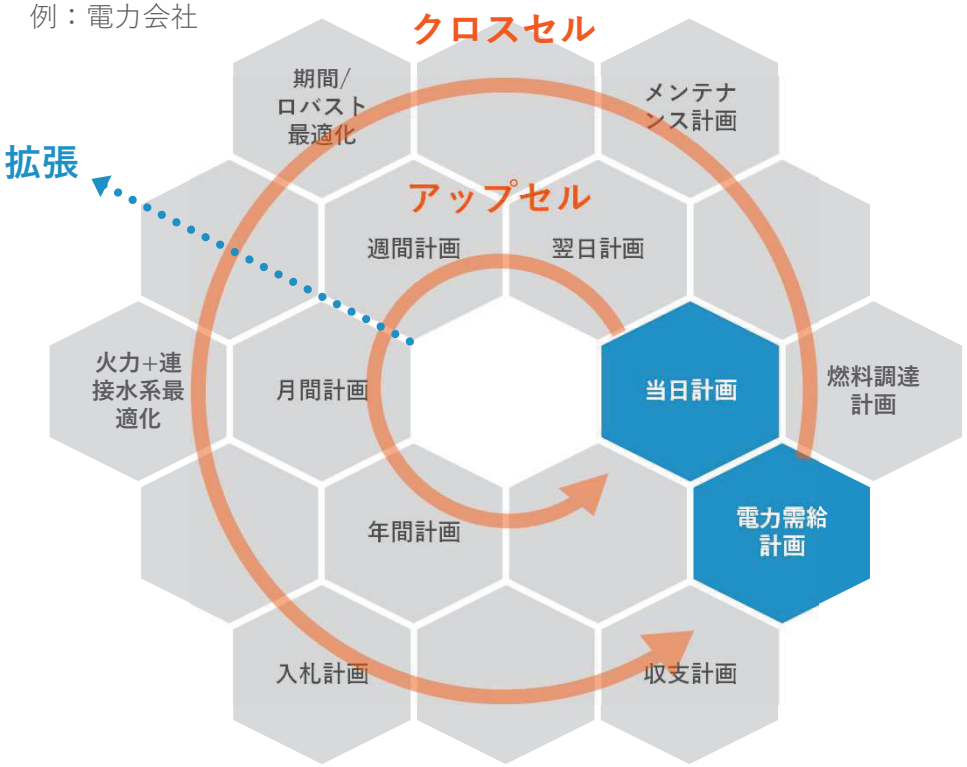


© 2025 GRID Inc.

短期成長戦略：アップセル・クロスセル

企業内の多種多様な計画へ最適化を拡張し
戦略的に顧客生涯価値を最大化

例：電力会社



日次計画など短期計画の
サービス提供から開始

週次・月次・年次計画などの
長期計画やその他の種類の計画へ拡大

最適化する計画の増加に伴い
ステークホルダーも増加

新たなビジネスチャンスの創出

© 2025 GRID Inc.

中期成長戦略：インダストリークラウドによる新規顧客開拓

電力・配船・製造・鉄道をはじめ
特定産業向けにインダストリークラウド※を投入

ReNom APPS
for industry SaaS

POWER
電力

日々変動する需要に対して様々なシナリオを描き、最適な需給計画を自動で立案

VESSEL
配船

日々変動する状況に対して最適な運行計画を自動で立案

SCM
サプライチェーン

企業のサプライチェーンを調達から生産、物流、消費までをつなぎ、最適な生産計画、物流計画を立案

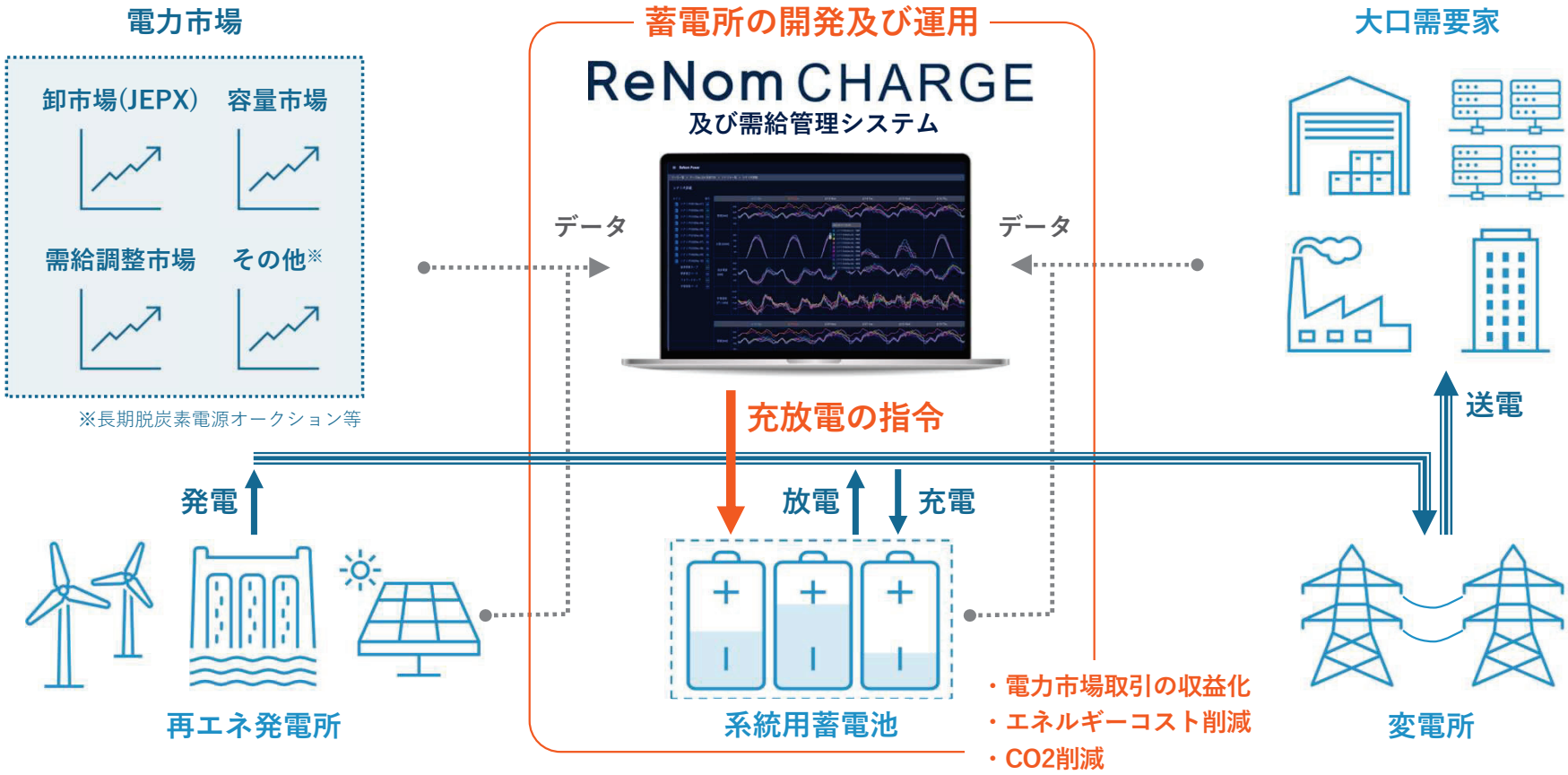
RAILWAY
鉄道

車両の運用や構内作業など鉄道輸送に関する様々な計画を自動で立案

※ インダストリークラウドとは、特定の業界、業種に合わせたサービスを提供するクラウドソリューション

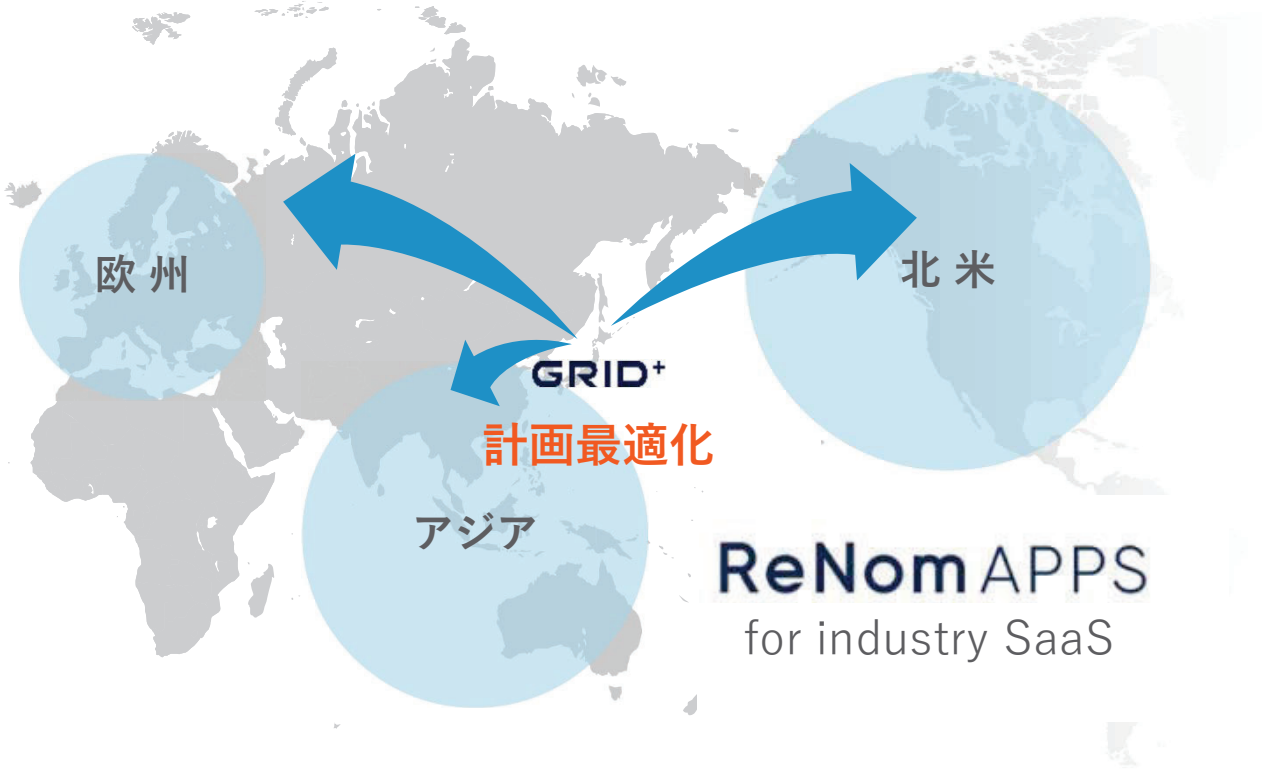
© 2025 GRID Inc.

系統用蓄電池の充放電の最適化を実現するとともに
蓄電所の開発から運用までのワンストップサービスを提供



© 2025 GRID Inc.

社会インフラの業務オペレーションは世界共通
計画最適化の領域は海外においてもブルーオーシャン



インダストリークラウドを強みに海外展開

国内の実績をROI※として明示することで海外展開への可能性を強化

SaaS提供のアプリケーション「インダストリークラウド」により海外ビジネスにおけるデリバリーリスクの低減を図る

※ ROIとは、return on investmentの略で、投じた費用に対してどれだけの利益を上げられるかを示す指標

© 2025 GRID Inc.

長期成長戦略：量子コンピューターの活用

実ビジネスの課題解決の発展を目指し
量子アルゴリズムの研究開発を加速

2017~
量子アルゴリズムの研究開発を開始

2018~
量子アルゴリズムに関する論文を発表

2021~
量子アルゴリズムに関する特許を申請

2024~
本番運用に向けて研究開発を加速

量子コンピュータ導入に向けた状況

2024年度「量子・古典ハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業」採択決定

グリッドの主な研究成果

量子モンテカルロ
量子コンピュータ上で乱数を発生させ、複数回シミュレーションを行ない、解を確率的に推定するアルゴリズムを開発

ハイブリッド量子古典動的計画法
メモリの制限やハードウェアのノイズによる計算能力の制限解消に有効な、古典コンピュータと量子コンピュータのハイブリット型量子回路を開発

過学習しにくい性質を実証
機械学習の精度向上のボトルネックとなっている「過学習」が、量子機械学習器において過学習しにくいという性質を詳細な数値実験を通して世界で初めて実証

仮想発電所需給調整におけるリスクヘッジ型量子古典確率最適化手法の開発
量子回路でVPPの制御を用いて実現する世界初の研究

NEDO

© 2025 GRID Inc.

- 25/6期中間期決算概況
- 近況報告
- マクロ環境
- 成長戦略
- **事業等説明**

© 2025 GRID Inc.

会社概要

会社名	株式会社 グリッド　GRID Inc.
代表取締役	曽我部　完
設立	2009年10月
資本金	53百万円（2024年12月31日現在）
事業内容	人工知能を用いたシステムの開発・販売・コンサルティング・保守・運用サポート業務　等
従業員数	103名（2024年12月31日現在）
本社所在地	東京都港区北青山３丁目11番７号 AOビル６階

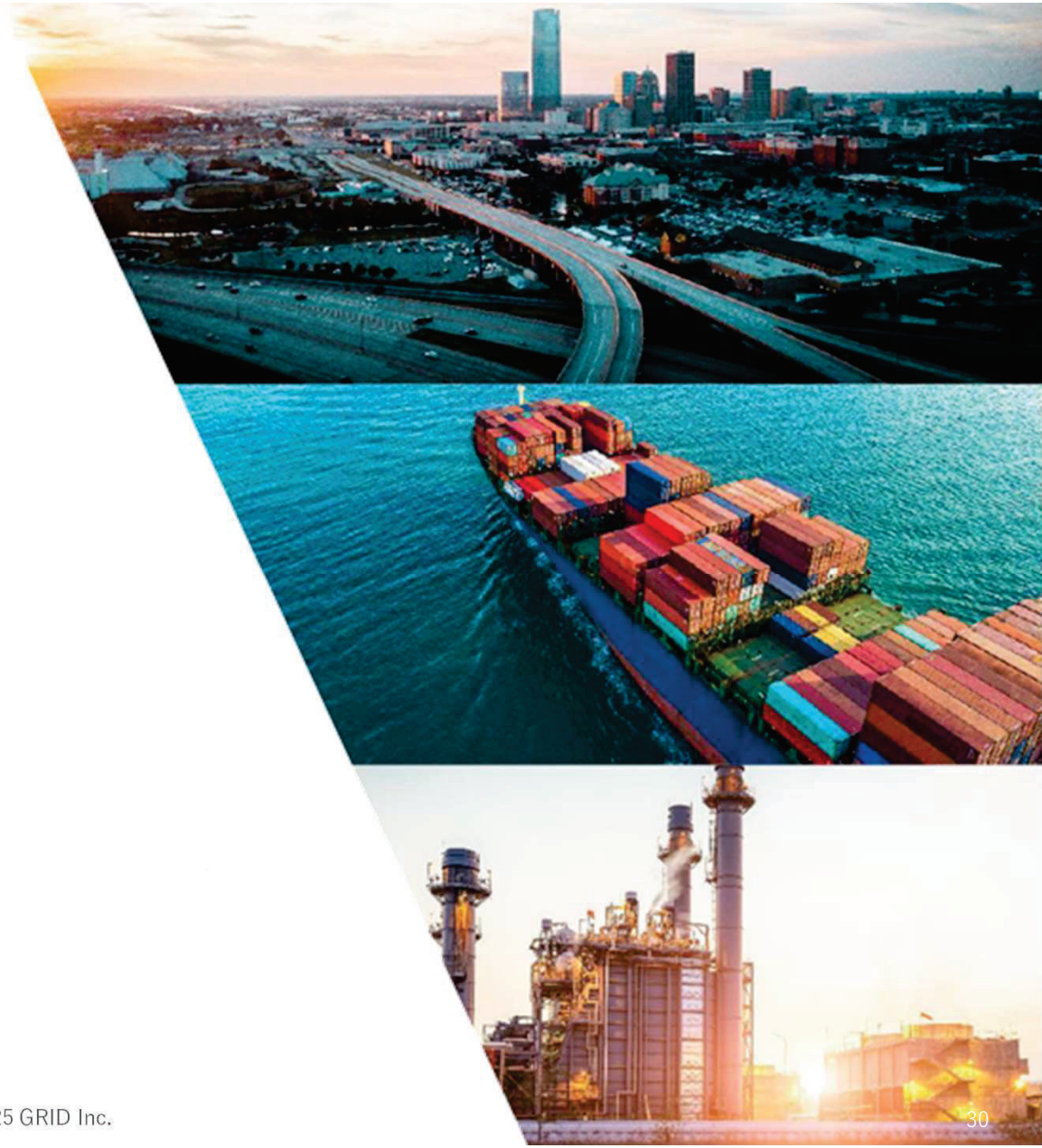
© 2025 GRID Inc.

Mission

インフラと社会を、その先へ

私たちは、アルゴリズムとテクノロジーで
これまでのインフラを再定義し、
未来の社会を支えるインフラを創造します。

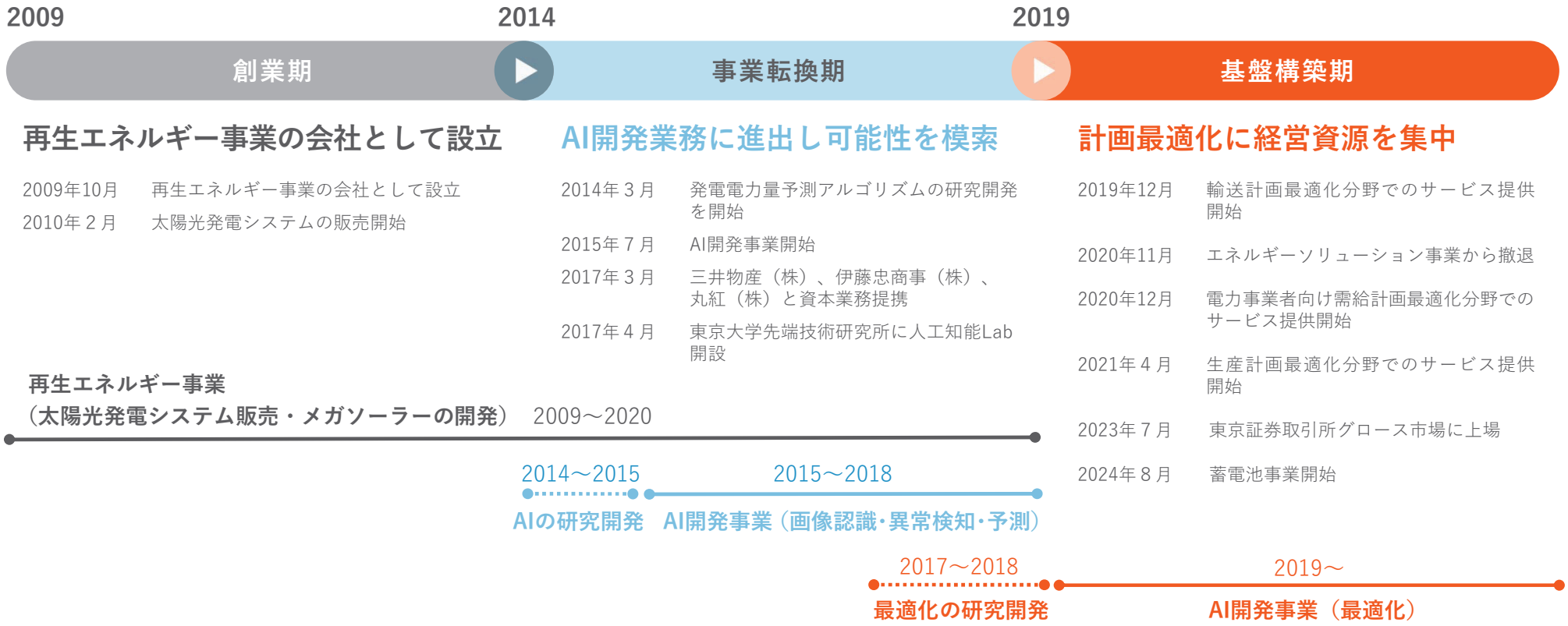
グリッドのテクノロジーはインフラを進化させ、
持続可能な社会づくりに貢献します。



© 2025 GRID Inc.

沿革

再生エネルギー事業の会社として設立。2014年にAI開発事業に事業を転換し、2019年より計画最適化に経営資源を集中



再生エネルギー事業の会社として設立

2009年10月	再生エネルギー事業の会社として設立
2010年２月	太陽光発電システムの販売開始

AI開発業務に進出し可能性を模索

2014年３月	発電電力量予測アルゴリズムの研究開発を開始
2015年７月	AI開発事業開始
2017年３月	三井物産（株）、伊藤忠商事（株）、丸紅（株）と資本業務提携
2017年４月	東京大学先端技術研究所に人工知能Lab開設

計画最適化に経営資源を集中

2019年12月	輸送計画最適化分野でのサービス提供開始
2020年11月	エネルギーソリューション事業から撤退
2020年12月	電力事業者向け需給計画最適化分野でのサービス提供開始
2021年４月	生産計画最適化分野でのサービス提供開始
2023年７月	東京証券取引所グロース市場に上場
2024年８月	蓄電池事業開始

再生エネルギー事業
（太陽光発電システム販売・メガソーラーの開発） 2009～2020

2014～2015 **AIの研究開発**
2015～2018 **AI開発事業（画像認識・異常検知・予測）**

2017～2018 **最適化の研究開発**
2019～ **AI開発事業（最適化）**

© 2025 GRID Inc.

事業ドメイン

AI × 最適化 を社会インフラ 3 分野に集中して展開

© 2025 GRID Inc.

事業内容　AI開発

社会インフラのオペレーションを最適化するAIエンジンの開発

Before　人による計画業務（例）

熟練人材

- 組合せ …… １シナリオ×１計画
- 計画作成時間 …. 数時間～数日間
- 計画結果 …… 実績で事後確認

After　AIエンジンによる最適化技術（例）

AIエンジン

- 組合せ …… 複数シナリオ×複数計画
- 計画作成時間 … 数分
- 計画結果 …… シミュレータで事前確認

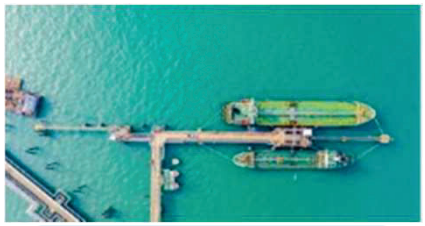
© 2025 GRID Inc.

AIエンジンを搭載した業務システムを提供

顧客の業務システムに当社の業務システムを組み込み、計画最適化を実現

業種ごとのシステム

電力システムアプリ & APIs



配船計画アプリ & APIs

生産計画アプリ & APIs

スマートシティアプリ & APIs

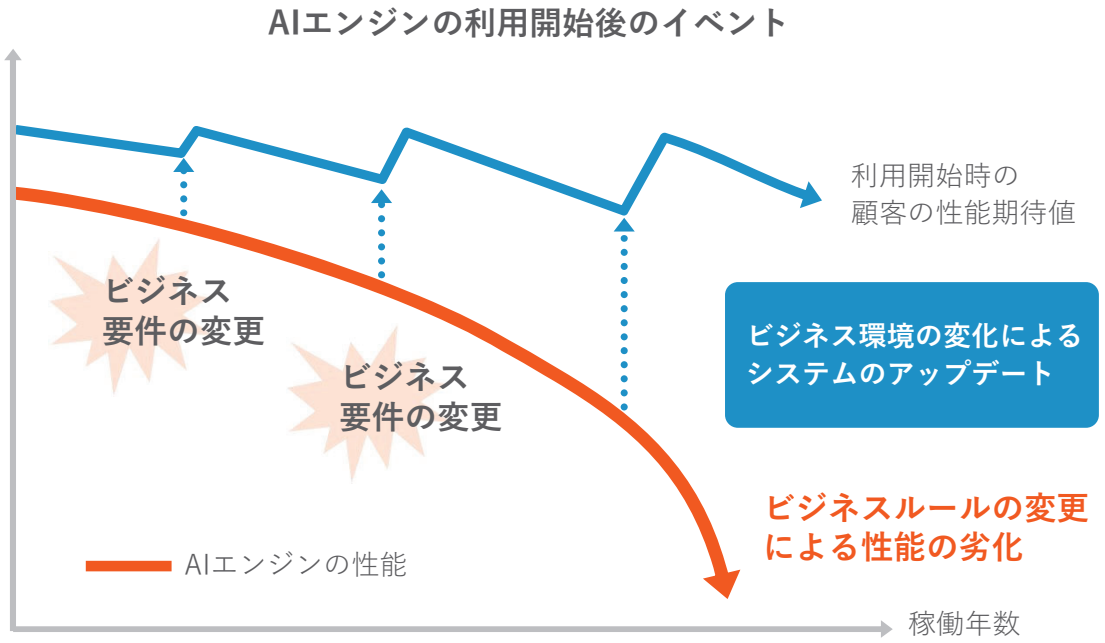
業務システム画面

当社が社会実装する最適化 ▶ 電力需給計画、送配電計画、配船計画、生産計画、輸送計画、渋滞予測等

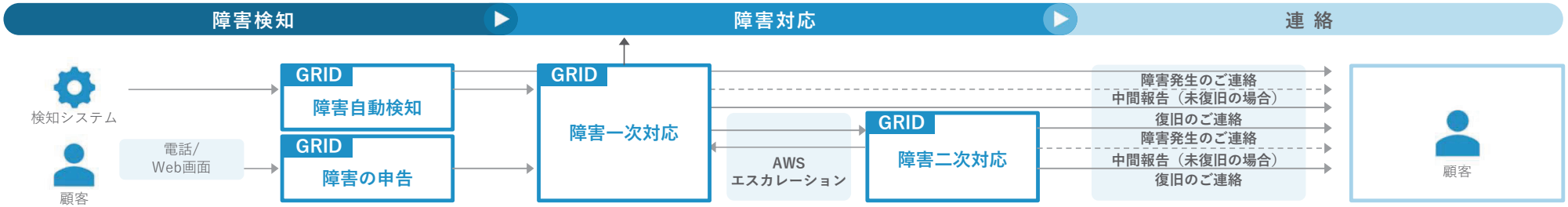
© 2025 GRID Inc.

AIエンジンの性能維持 障害監視・対応を行う 運用・サポート

顧客のビジネス要件の変化やデータの質の変化により、AIエンジンは性能が劣化する可能性があるため、性能を維持しつつ顧客がシステムを利用し続けられるよう、障害監視・対応を行うとともにAIエンジンのチューニングを行うサービスを年間契約として提供

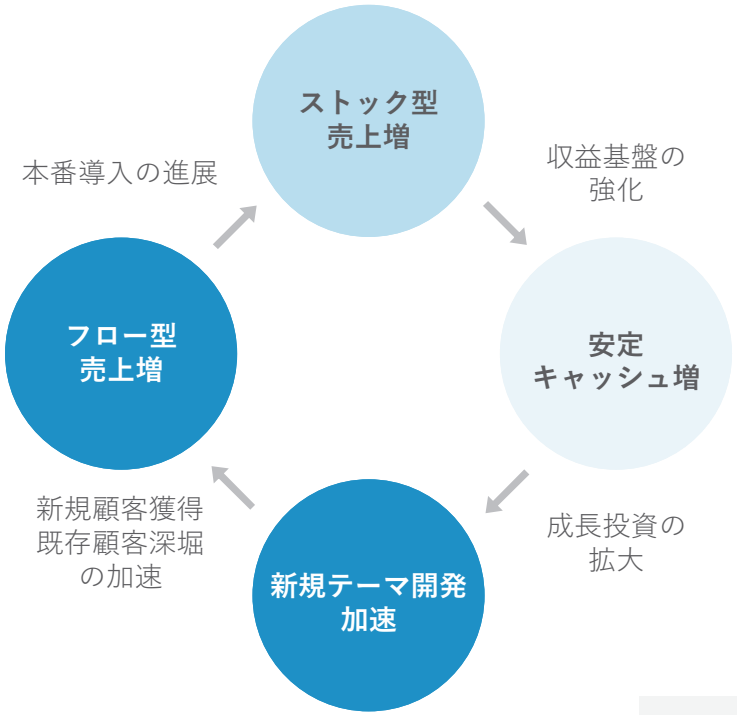


障害対応フロー

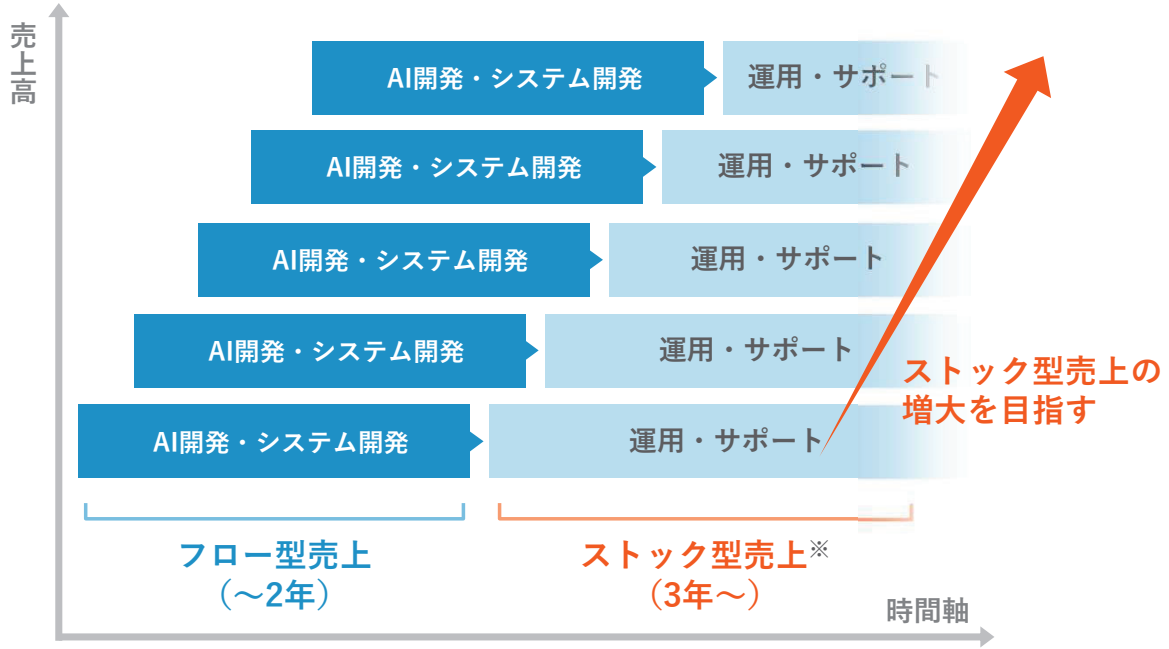


© 2025 GRID Inc.

フロー型売上の積上げにより、ストック型売上を継続的に拡大



● 当社の収益構造イメージ



24/6期 中間期	456 百万円	182 百万円
25/6期 中間期	643 百万円	246 百万円

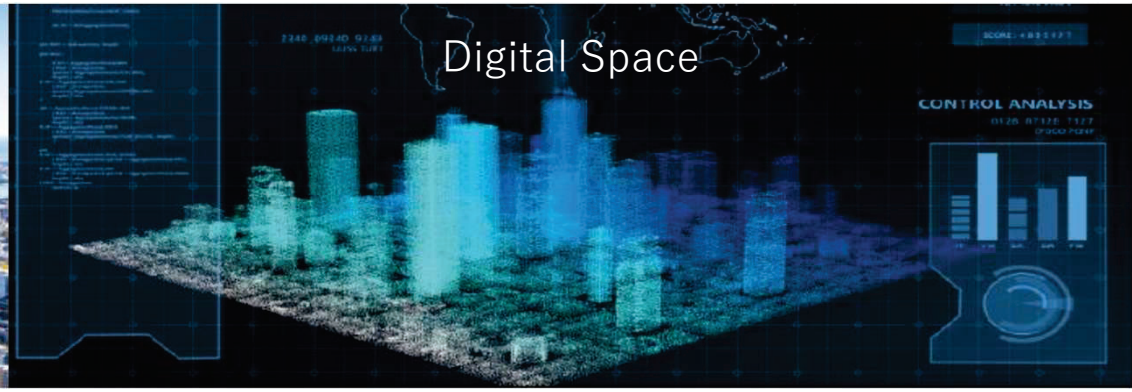
※ 契約期間は顧客ごとに異なり、再契約により契約期間延長を行う

© 2025 GRID Inc.

コアテクノロジー

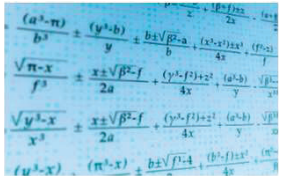
デジタルツインとAIアルゴリズムの融合による最適化技術

現実世界の**ビジネスルール**や**物理法則**をデジタル空間に再現し
ビッグデータを用いず※、**AIアルゴリズム**で計画を最適化する



ビジネスルール

＋



物理式

»

AIエンジン

シミュレータ

実行プラン
⇄
実行結果

AIアルゴリズム

»

UI/UX 業務システム

※ AIエンジン内のシミュレータが顧客のビジネス環境を再現してパラメータ値の入力でデータを生成できるため、ビッグデータが不要

© 2025 GRID Inc.

社会インフラ出身のエンジニアによる豊富な業務知識

当社は、業務知識をエンジニアのコア・コンピタンスとし、それにデータサイエンティストやITエンジニアの能力を付加することで他社にはない人材戦略を展開

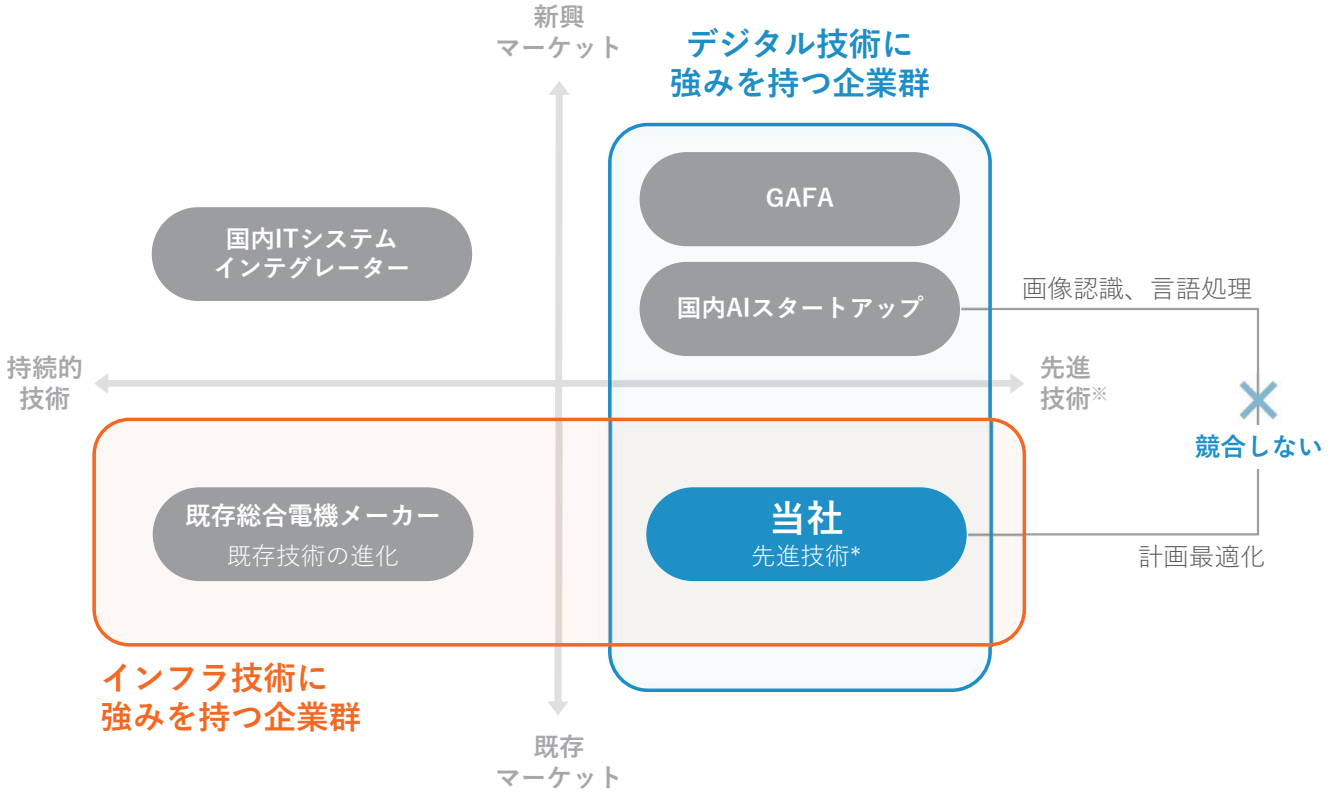
© 2025 GRID Inc.

ポジショニング

社会インフラ×最適化による差別化と集中で
競合が少ない独自のポジションを確立

当社の競合は、AIスタートアップではなく
国内の歴史ある**巨大な総合電機メーカー**

当社独自のソリューションである
数理最適やメタヒューリスティクス※に
最新AI技術を組み合わせたAIアルゴリズムと
製品販売を伴わないサービス提供により
技術面、**価格面**ともに**優位性**を確保



※ メタヒューリスティクスとは、現実空間において膨大な組合せが発生する最適化問題を解くための経験的手法（ヒューリスティクス）を有機的に結合させたアルゴリズム

※ AIを使った技術であり、既存技術と比較して高い優位性のある技術

© 2025 GRID Inc.

免責事項

本資料の取扱いについて

本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。これらは、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大きく異なる場合があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれていますが、これらに限られるものではありません。

© 2025 GRID Inc.